

平成 23 年 3 月 16 日

急告

東京農工大学同窓会
会長 藤森 明彦
理事長 高橋 幸資

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）のお見舞い

平成 23 年 3 月 11 日午後の突然のマグニチュード 9.0 の東北地方太平洋沖地震、それに続く大津波による未曾有の惨状に接し、東北地方から関東地方の皆様、特に、甚大な被害に遭われた地域、または、隣接に在住の同窓の皆様には、ご家族の皆様を含めて大きな被災もなく無事にお過ごしのことと切にお祈り申し上げます。

我が国史上類のない強度の広域に亘る激甚な地震と津波による被災状況、加えて原子力発電所で併発した重篤な事故、自衛隊や各国救助隊による懸命な捜索が続くも未だ多数の安否不明、続く余震や救援物資の不足で不安と心配が募ります。これから道路、鉄道、電気、ガス、上下水道等の懸命な復旧が進められますが、多数の損壊家屋・工場の復旧見込みの立たない状況で、多くの方々が避難生活を余儀なくされ、不自由な生活を送られていることを目の当たりにするに付け、皆様のお疲れや心労も如何ばかりと心よりご心配申し上げます。特に、岩手・宮城県では、平成 20 年 6 月に内陸地震があったばかりで、今回の海岸沿いの大震災となり、ご心労の極みと存じます。

本会の原簿によりますと、盛岡市、仙台市、名取市、福島市、いわき市、白河市、海岸沿いの陸前高田市、気仙沼市、南相馬市等に在住する同窓は、計 520 名以上にのぼります。本来なら、同窓お一人お一人にお見舞いを申し上げるべきところですが、取り急ぎ代表して本会ホームページ上にて同窓会から心よりお見舞いを申し上げます。

今後の復興に向けて、お手伝いできるご要望等がありましたらご遠慮なくお知らせ下さるようお願い申し上げます。

重ねて被災された皆様に本会から心よりお見舞いを申し上げます。まだまだ、ご不自由な生活が続くと思われませんが、くれぐれもご自愛戴きますよう心よりお願い申し上げます。